

市民の水源地に危機が

私たちの命の源の鈴鹿川水系の水、その源流部が破壊されようとしています。



加太川は鈴鹿川の支流とされていますが、水量では本流を上回り実質上は鈴鹿川の本流です。国道25号線を加太川に沿って奥へと進むと右に大きな採石場があります。やがて加太峠を越え伊賀市に入ると右に再び巨大な採掘場となります。この辺り一帯に今、伊賀市の業者が鉱業法による試掘権を出願しています。鉱業法は、砂利採取法等と異なり、戦前・戦後の石炭や鉄鉱石が国の存亡にかかわる時代に制定された法律で、地権者の権利や周囲の環境保全以上に採掘業者の権利を優先する強権性をもっています。石炭なんかあるの？と思われるかもしれませんが。鉱業法という鉱石は「けい石」等、普通の岩石でも対象になるのです。いったん業者が試掘権さらに採掘権を得ると、有無を言わず採掘が

可能でそれを止めるのは、もはや困難です。経済を支えるための企業活動は必要です。しかしそれにはおのずから環境への配慮等、節度が不可欠です。先日、市民有志5名が問題の源流部を探索しました。単に反対するためではなく自分たちの目で何が問題なのかを確認するためです。25号線沿いの山は既に大きく削られ山頂部までむき出しになっていました。それでも加太不動滝に続く一帯は昔のままに豊かな清流が流れ、その山ふところは深い緑に覆われていました。ここは私たち亀山の誇り、鈴鹿国立公園に続く水源地帯の森です。子々孫々まで残すべき豊かな自然を今の代で失ってはなりません。

3年前には亀山のシンボル、野登山（鶏足山）に同様の危機が迫り、市民他4万人の署名で業者の申請を却下させました。市民は署名運動で、行政は関係方面への陳情・説明と、それぞれの役割を100%活かしたまさに協働の成果でした。前回はいつも眺められる皆さんにとって、なじみの山でしたが、今回は加太奥の山です。でもこの一帯は毎日の飲み水を生み出し、亀山市民の命を育む豊かな森なのです。今回も市民と行政の協働でこの新たな危機を打開していきましょう。

現地視察した感想より：「丁度このあたりが採掘の対象地域」と教えてもらい、一帯を見上げるとそこには見事なまでの緑深き山々。溪流に沿って登ってゆくと、行き止まりに滝壺が。水しぶきを上げ、あたりの静寂を破って流れ落ちる滝の音。加太川の源流は私達の水源。山が剥がされるのは生命が危機にさらされると同じこと。そんな戒めと自然の豊かさを満喫してきました。（虹はるか）



伊藤幸一



大きく崩された山肌 伊賀市側にて

加太不動滝に隣接した亀山市側、約50ヘクタールの範囲に試掘権が出願されています。薄い網掛けが対象のエリア。



**定例市民交流の日 8月21日(火) 19:30～ 市民協働センター****テーマ 「みんなで考えよう、市民協働センターの活用方法」**

4月からオープンした市民協働センター

だんだん利用者も増えほとんどの日は各部屋とも利用されるようになりました。そこで更に皆さんで新しい利用方法を話し合っていました。

☆アイデア提案で楽しいことを見つけたい。

☆他施設の利用が減ったことは無いのか？

☆協働センターは会議室が中心で料理室や運動設備は無いから影響は少ないと思う。

☆想定外として外国人の利用が多くなってきた。

☆子どもの利用は？ 知名度がまだ低い。

☆名前が堅いのでとっつきにくいのでは。

☆名前から誰でも使えるという意識が少ない。

☆協働の名前が難しい。説明看板をつけたい。

☆愛称の募集がいいのでは。学童保育の場所とか使えるかも。

☆コーヒーサービスなどができないか。

☆土日に遊びながら童謡を歌う会などを開催し、子どもが寄ってくる場所にできないか。

☆利用者会議要綱があるので、アイデアの提供や意見をいただく場がほしい。

☆特に組織をつくらなくて必要時に集まれと呼びかけ方式ではどうか？

☆毎回利用団体に対して呼びかけたい。

☆東海道の地の利を生かし、昭和30年代展などしたら面白そう。国鉄時代の写真やグッズを展示したらどうか。

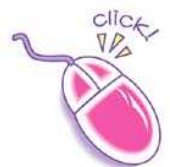
**外国人でにぎわうパソコンコーナー(場所:市民協働センター)**

パソコンコーナーには、インターネットが無料で使える3台のパソコンがあります。

□こみで広がったのかシャープ関連企業で働く外国人の皆さんが次々と訪れ、インターネットで母国のサイトを楽しんでいます。主にフィリピンからの研修生が多いようですが、最近は中国の方も増えてきました。お互い若い女性どうし、言語は違って共通のサイトになり、使い方を片言の日本語で教えあうこともあります。写真は楽しそうにパソコンを使うフィリピンと中国からの皆さんです。

パソコンは、一人1時間以内とされていますが、待つ人がいなければ継続できます。

その他、ネット検索を駆使して宿題の参考にする学生や、パソコンの練習等、市民の利用も増えています。普段は外国人との接点はなかなか得られませんが、この場所を活用し国際交流されたら



いかがでしょう。若い皆さんですから日本語を覚えるのも早いし、フィリピンの方は、たいてい英語も話せます。



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体の代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これからの活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今回は、川崎子どもの居場所づくり実行委員会コーディネーター 一見政幸さんです。

平成15年度に川崎小学校のPTA会長を務めさせていただいた時、「学校5日制になって」のアンケートを実施したところ、「学校は5日制でも親は5日制でない、学校かPTAで子どものために何ができるか」という意見を多くいただきました。「何ができるか」で悩んでいたところ、文部科学省が地域が子どもを育てる力をつけるために、平成16年度から3カ年のキャンペーンで「子どもの居場所づくり事業」を行うと聞き、この事業をやろうと考えました。地域や学校、PTA、行政にも協力をお願いし実行委員会を立ち上げ「地域子ども推進事業」をスタートすることができました。

「子どものこと、子どものために、地域で子どもを育てる」をコンセプトに、平成16年度はスポーツクラブを、平成17年度からは文化系クラブを毎週、水・木・土・日曜日や祝日に小学校の教室や体育館、運動場で学校と一体となって活動を進めています。

たくさんの方にお世話いただくのでその調整役をさせていただいておりますが、よく「大変ですね」と言われます。しかし、一番大変で頑張っているのは、子どもを直接指導している指導員や現場で活動を運営している保護者や地域の方々、協力いただいている学校の先生方なのです。私は、子どもの声や指導にあたる方々の要望が叶えられる様お手伝いをしているだけです。

他校区から「そういうことをしてくれる人がほしい」とよく聞きます。正直言って様々な準備や調整、計画や書類づくりは大変なのかもしれませんが、子どもや、保護者の喜ぶ顔、指導員の熱心さを見ているといつのまにか引き込まれてしまっています。

「してほしい」ではなく「したい」がきっかけで、気が付けば組織になって、気が付けば活動している、気が付けば子育てができていて、そのような感じです。たくさん子どもたちがいろんな活動を通していろんなことを体験し、いろんな人と出会い、大切な大人に成長していく、そう願っています。



「アートフォーラム2008展 IN 亀山」へのお願い

アートによるまちづくりを考える会
代表 伊藤峰子

亀山市東町商店街が近代化されて20余年。

この間、時代の流れは大型店舗への消費者の移行・景気の低迷・店主の高齢化などで空き店舗が増え、賑わいが失われつつあります。そのような中、亀山の芸術家グループや県内の「アートフォーラム三重」という芸術家集団から白を基調としたポストモダンともいえる東町商店街の建物は、芸術活動の町として他に無い魅力があるとの声があがり、芸術文化により東町を活性化できる可能性を提案されました。

来年度に現代美術の祭典「アートフォーラム三重2008展」を東町商店街の空き店舗を中心に開催することによって、商店街の活性化と同時に、市内外からのアーティストを呼びアートの可能性に挑戦したいとの企画が具体化しました。商店街の皆様には店舗をお借りしたり、何かとお騒がせしますが、ご協力をお願いいたします。

なおこの企画には、亀山市をはじめ関係諸団体の後援を得る予定になっております。



日時 2008年11月2日(日)～9日(日) 10時～17時
 展示場所 *亀山市東町商店街の空き店舗を中心に展示。
 *本部は市民協働センター1F



市民協働センターでのパソコン教室

市民ボランティアと市民参画協働室の共催で、パソコンを持ち込み、ネットに接続するという、他にない形態でパソコン教室を開催しました。

パソコンは、7年前のものから最新型まで様々で、対応が難しく不具合もありましたが、受講者が普段使っているパソコンで習うことが一番良い方法ではないでしょうか。

第1回目はインターネット接続とその楽しみ方。2回目はチラシづくり、3回目はデジカメの使い方という内容でした。3回目は、特に人気が高く、定員の2倍の応募者があり、急きょアシスタントを増やしての対応となりました。

参加者の皆さんは熱心に受講され、アンケートによる感想も上々でした。

今後、希望者が多ければ、再度の開催も検討したいと思っています。



第3回関宿スケッチコンクール

日 時：10月7日(日) 9:00～16:30(雨天決行)

本部受付：関宿地藏町散策拠点施設「いっぷく亭(関町新所)」

応 募：一般の部(高校生以上)・子どもの部(5歳以上/中学生以下)

参加費：一般の部 200円 *子どもの部は無料 参加賞あります。

主 催：関宿スケッチコンクール実行委員会

北勢文化創造"わ"の会

問合せ：関宿スケッチコンクール実行委員会事務局

82-4125(森)・84-5078(亀山市まちなみ・文化財室)



文化箏「華音」(KANON)初回演奏会

日 時：2007年10月6日(土) 開場13:00、開演13:30

場 所：亀山市文化会館大ホール

入場料：500円

文化箏は、従来の箏の半分の長さのミニ琴で13本の弦で弾きます。曲は、古典曲から童謡や現代曲まで楽しめ、癒しの音色を響かせます。活動は今年で3年になりますが、中央公民館での「文化箏講座入門」で指導させていただき、また、福祉施設や地域の敬老会などで演奏してきました。

今回、より多くの方々に文化箏のよさを知ってほしいとの思いから、初回演奏会開催の運びとなりました。今回の演奏会では民謡をはじめ、古典曲から三段の調、六段の調、またゲストとのセッションでは、みさと笛、踊り、お茶のお手前、即興曲などで楽しんでいただける構成となっています。どうぞ皆様お誘い合わせの上ご来場くださいますようお願い致しております。



：団体名：文化箏「華音(KANON)」

：代表者：村嶋恵美子

*TEL：82-1392 *FAX：TELと同じ



私たちのまちの企業

企業との協働を一層推進するために、「企業の社会貢献活動」や「企業が行政と協働してまちづくりに参画している様子」などをご紹介します。

今回は、亀山モデルでおなじみのシャープ亀山工場の取組について、シャープ株式会社AVC液晶事業本部総務部副参事の荒田様に語っていただきました。



「シャープ亀山工場は、2004年1月の操業開始以来、良き企業市民として活動する「環境先進工場」として事業の拡大と工場の安定操業を図り、地元雇用をはじめ工場稼働に伴う事業規模の拡大により地元へ大きな経済効果をもたらしてまいりました。

一方で、従業員のグリーンマインド向上と地域社会とのコミュニケーションを深めることを目的に、亀山工場では次のSGC（シャープグリーンクラブ）活動を通じて、地域の環境保全活動や事業所周辺の清掃活動などに積極的に参加すると共に、市の事業や地元行事に参加し、各種協賛にも積極的に協力しています。

「今後はこれら活動をより拡大し、引き続き地域に根ざした事業所運営を図ってまいります。」

区分	行事	内容
SGC活動	クリーン石水渓作戦	亀山を代表する石水渓にて、自然環境の保全と美化意識を高める目的で亀山市地区衛生組織連合会・亀山市の主催する清掃活動に参加
	国道1号クリーン作戦	「クリーン石水渓作戦」を発展させた国道1号沿(鈴鹿峠各所)の清掃活動を通じた不法投棄撲滅運動への参加(06年度より)
	川と海のクリーン大作戦	国土交通省が主催する「川と海のクリーン大作戦(鈴鹿川編)」に参加
	県道 関大山田線周辺の清掃活動	県道 関大山田線に不法投棄されている粗大ゴミを一掃するための活動に参加
	クリーンデー	毎月、第2・第4金曜日の朝、工場周辺の清掃活動をシャープ従業員常駐会社合同で実施(これ以外にも交替制勤務者による清掃活動を実施)

亀山市関町市瀬の(仮称)「市民の森」の現況把握と環境学習などを目的とした観察会に参画





9月の市民交流の日「きらめき亀山21」

日 時: 9月21日(金) 19:30～21:30

場 所: 市民協働センター 申込み不要

テーマ: 「災害に備えて」

危機管理室の説明の後、災害に備えるため、自分でできることは何か、みんなで楽しく話し合しましょう!



第4回市民活動スキルアップ講座

日 時: 9月25日(火) 19:30～21:30

場 所: 市民協働センター

テーマ: 市民活動のリーダーに求められる力

講 義: 「今日におけるリーダー像」参加者がリーダー像を描きながら、市民活動に求められるリーダーの役割を具体化します。

講 師: NPO法人 市民社会研究所

参加費: 無料

託 児: 要申込み(託児料 1人200円)ただし、講座の2週間前に締め切ります。また、託児可能年齢は、6か月以上小学生までです。



まちづくり講演会

日 時: 10月14日(日) 13:00～15:30

場 所: 市民協働センター

内 容: 第1部 「地域の思いをバスに乗せて ～交通弱者を救え! 自主運行バスへの道～」

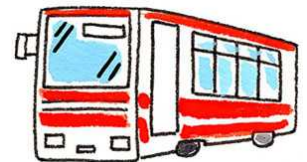
《講 師》 NPO法人 生活バス四日市 理事長 西脇良孝 氏

第2部 市民協働センター利用者会議

参加費: 無料

*スキルアップ講座、まちづくり講演会の申込み、問合せ先

市民部市民参画協働室(84-5008) 市民協働センター(84-5800)



あなたも、市民交流会実行委員会に参加しませんか。

誰でも参加できます。ぜひ、お越しください。今年の交流会を企画しましょう。

日 時: 9月18日(火) 19:30～21:30

場 所: 市民協働センター

市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。

詳しくは、市民参画協働室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@City.Kameyama.mie.jp)又は、市民協働センター(旧百五銀行亀山支店跡 Tel.84-5800 Fax.84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp)へご連絡ください。

編集作成: 「きらめき亀山21」広報部(問い合わせ先: 亀山市民部市民参画協働室 0595-84-5008)

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp

この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子唄会館・老人福祉センター・健康づくり関センター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)】ホームページ <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>